

# SWR & POWER METER



## CD-160H (1.6-60MHz)

### 取扱説明書

ご購入いただきまして誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために！

- ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みのうえ正しくお使いください。
- この取扱説明書は必要なときにご覧になれるように、大切に保管しておいてください。

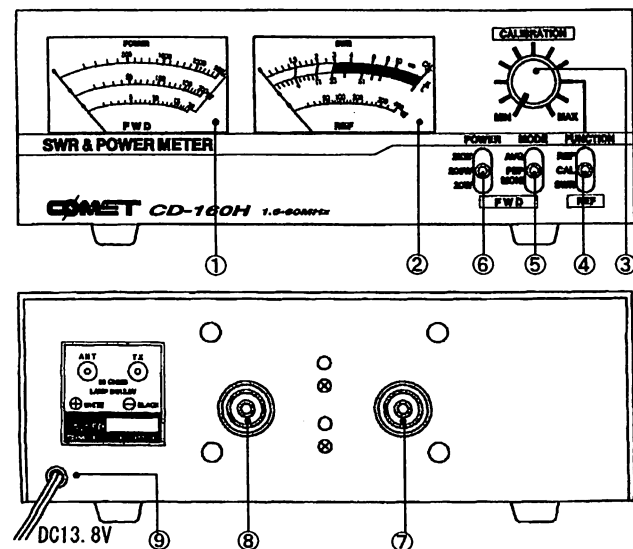
#### ■特長

1. つなぎ込みによる、電力損失が大変小さいので、無線機からアンテナへの給電条件を乱すことなく測定、監視を行うことができます。
2. SSBモード等の変調ピーク電力を測定できるPEPモニター表示が内蔵されています。

※PEP・・・Peak Envelope Power

#### ■各部の名称と働き

- ①FWD POWERメーター  
このメーターは、進行波電力（FWD）を表示します。
- ②SWR/REFメーター  
このメーターは、反射電力（REF）とSWRを表示します。
- ③CALIBRATIONツマミ  
SWRを測定するとき、CAL（ファンクションスイッチ）で電力に応じてメーターの針をCAL“▼”にセットするツマミです。
- ④FUNCTIONスイッチ  
反射電力測定とSWR測定の機能を選択します。
- ⑤MODEスイッチ  
進行波電力測定するとき、AVGにすると平均電力を表示します。又、PEP MONIとするとPEPモニター表示となります。但し、最小レンジでは、PEPモニター表示とはなりません。
- ⑥POWERスイッチ  
進行波電力指示の最大値（フルスケール値）を切り換えます。
- ⑦TX  
無線機の出力を接続します。
- ⑧ANT  
アンテナ又はダミーロード等を接続します。
- ⑨DC13.8V  
メーター照明用の電源接続リードです。



#### ■ご使用方法

##### 〈進行波電力の測定〉

1. 進行波電力（FWD）の測定は、ファンクションスイッチを“REF”又は、“SWR”とします。
2. 平均電力の表示はモードスイッチを“AVG”に、PEPモニター表示は“PEP MONI”とします。

##### 〈反射電力の測定〉

1. 反射電力（REF）の測定は、ファンクションスイッチを“REF”とします。

##### 〈SWR（定在波比）の測定〉

1. ファンクションスイッチを“CAL”の位置とします。
2. キャリブレーションツマミにてメーターの振れをフルスケールCAL“▼”の点に合わせます。
3. 完了後“SWR”とするとメーターは、アンテナのSWR値を表示します。

（注）SWR測定時の送信電力が、20w以下の時は“L”目盛り、20w以上の時は、“H”目盛りの数値を読みとります。

##### 〈SWRと反射電力の関係〉

S W R	1.0	1.1	1.2	1.5	2.0	2.5	3.0
反射波電力(%)	0	0.22	0.8	4.0	11.1	18.4	25.0

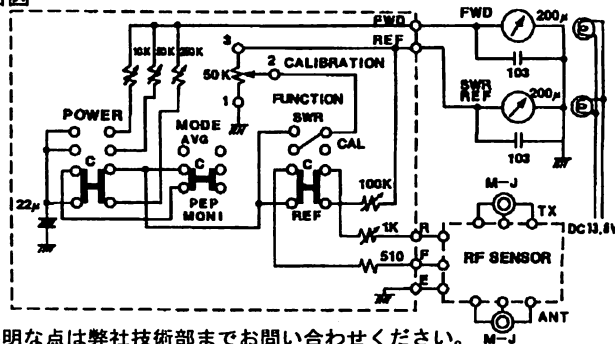
#### ⚠注意

定格以上の電力を加えないでください。本機の部品の破損又は発熱の原因になります。\*連続使用の場合、最大電力1.2KW以下

#### ■定格

- 周波数範囲：1.6～60MHz
- 電力測定範囲：0～2KW
- 電力レンジ：20/200/2KW
- 電力測定確度：±10%（フルスケール時）
- SWR測定最小電力：約3W
- SWR測定：1.0～∞
- 挿入損失：0.1dB以下
- 入力インピーダンス：50Ω
- DC電源：DC13.8V 50mA
- 入出力接栓：M-J
- 外形寸法：206(W)×72(80)(H)×92(118)(D)mm \* ( )内は突起物を含む
- 重量：約1Kg

#### ■回路図



●ご不明な点は弊社技術部までお問い合わせください。M-J

コメット株式会社

〒336 埼玉県浦和市辻4-18-2 TEL 048-839-3131(代) FAX 048-839-3136  
性能向上のため予告なく外観・仕様を変更することがあります。